仕　様

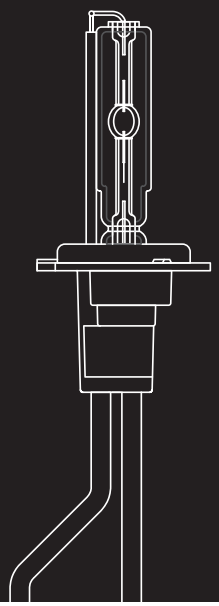
入力電圧	定格 DC12V／最小入力負荷電圧 9V(±5%)／最大入力負荷電圧 18V(±5%)
消費電力	20W～46W (±5%)
バラストサイズ	W92.5×H59.7×D23.8(mm) ※ケーブル部は除く
バラスト重量	285g
バルブ点灯方式	DC点灯
イグナイター	バラスト内蔵一体式
全光束(ルーメン)	約4000lm(46W時:5500Kバーナー全光束)
バルブ寿命	約1500h(46W連続点灯時)
Hi/Lo切り換え方式	DC12V　ソレノイド&スプリング方式(H4MS、H4Mバルブのみ対応)
ディマーユニットサイズ	W18.6×H12.7×D32.0(mm) ※ケーブル部は除く
ディマーユニットスイッチ	DC12V入力信号
	(10秒間入力時ON→解除時OFF)
	(3秒間連続入力6回時ON→入力1回時OFF)
対応車種仕様	DC12Vバッテリー搭載およびヘッドライト直流12V点灯・マイナスCOM仕様車
対応バルブタイプ	H4MS→H4、HS1*
	H4M→H4、HS1*
	H7→H7
	H8/9/11→H8*、H9、H11
	HB3/4→HB3、HB4

*35W出力調整(17ページ)が必要となります。

販売元：SYGN HOUSE CO.,LTD. サインハウス
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢6-19-21
TEL. 03-3702-5050　URL: http://www.bolt.co.jp

SYGN HOUSE
www.bolt.co.jp

11.10



取扱説明書・製品保証書

SOLAM H.I.D.

DC Power 46W

DC46W アクティブ・ワッテージ H.I.D. ヘッドライトシステム

ご購入時は保証規定をご確認・ご同意の上ご購入ください。
本書が無き場合は保証が受けられません。必ず保管してください。

必ずお読みください

この度は、DC46W アクティブ・ワッテージ H.I.D. ヘッドライトシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に本取扱説明書をよく読みご理解の上、お取り扱いください。尚、本取扱説明書はお読みになった後も大切に保管し、ご活用ください。

取り付けはプロショップにて

本製品はヘッドライトシステムです。公道を走行する上での保安部品となるため、ヘッドライトの整備、取付作業等には専門的な知識が必要となります。本製品の取付作業については整備資格のある専門のバイクショップ様、または販売店様へのご依頼をお願いいたします。※取付販売店様へ：本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

CONTENTS

本製品をご使用になる前に ……02
安全上の注意、使用上の注意 ……03
01. 各製品のキット内容 ……04
02. 配線図 ……06
03. 取り付け前の準備 ……08
04. H4MS,H4Mバルブキットの取り付け ……10
05. H7バルブキットの取り付け ……12
06. H8/9/11,HB3/4バルブキットの取り付け ……14
07. ディマーユニットの取り付けおよび作動 ……16
08. HS1/H8バルブ搭載車、
再生樹脂を使用した灯具搭載車について ……17
09. 点灯テストおよび、光軸調整、車検について(点灯動作について)…18
トラブルシューティング……19
仕様、保証書 ……20

本説明書の更新版はWEBサイトをご確認ください
http://www.bolt.co.jp

SYGN HOUSE

SOLAM H.I.D. DC46Wは、ライダーの安全とバイクのことを考えた
これまでにない次世代HIDキットです。

製品の主な特長

POINT 1 **全光束4,000ルーメン（ノーマルの約4倍）の明るさで、夜間走行も安心。**

POINT 2 **業界初、DC点灯システムにより、安定した光が持続。**

POINT 3 **DSP搭載のデジタルバラストが車体に最適な電力を判断し、46W～20Wの中で可変して点灯。**

POINT 4 **ブレーキ連動のディマーシステムで、アイドリング時に20Wまで減光可能。**

POINT 5 **シンプル&コンパクトな設計で、取り付け簡単。**

本製品をご使用になる前に

●バイク専用品です。

本製品は DC12 ボルト・マイナス COM 二輪車専用です。該当車以外には使用しないでください。該当車以外に使用された場合は、保証対象外となります。

●ご使用可能かをもう一度ご確認ください。

純正のバルブタイプと本製品の対応バルブタイプが共通でない場合は装着できません。また、バルブタイプが共通でも車両により本システムの装着ができない場合もあります。装着の可否を販売店様、もしくは取り付けショップ様にてご相談ください。

●仕様・セット内容は予告無く変更することがあります。

●本製品の分解や加工は絶対に行わないでください。

分解や加工を行った場合、一切の責任を負いかねます。

●本取扱説明書を必ずお読みください。

安全にご使用していただくために、まず「安全上の注意」「使用上の注意」を熟読してください。その後、説明書の内容に従って正しく取り付けを行ってください。

●バルブの取り扱い注意

バルブのガラス部分をさわると破損につながる恐れがあります。点灯するバルブのガラス部分は絶対につかんだり触ったりしないでください。もしも触った場合は、脱脂洗浄を行ってください。

WARNING 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると生命に危険、または重大な障害につながる恐れがある内容を表示しています。

CAUTION 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると障害、または事故につながる恐れがある内容を表示しています。

※本書に示す取扱方法と異なる使用をした場合は、保証の対象外となります。

安全上の注意

WARNING 警告

●本製品は高電圧を発生します。点灯中に分解したり、バルブ・バラスト・ハーネスには触れないでください。感電の原因となります。

●本製品を分解および改造して使用しないでください。感電、発火、発煙の原因となります。

●紙や布で覆ったり、燃えやすい物の近くで点灯しないでください。火災や灯具過熱の原因となります。

●ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど引火する危険性のある物の近くで点灯しないでください。爆発や火災の原因となります。

●点灯時はバルブを直視しないでください。視力障害の原因となります。

●本製品の取り付けには高度な専門知識を必要とします。専門のバイクショップ様、または販売店様に取り付けを依頼してください。

●本製品は精密機械です。落下させたり配線に無理な力をかけないでください。故障や感電の原因となります。

●本製品に損傷を発見した場合は、直ちに作業、使用を中止してください。感電の原因となります。

CAUTION 注意

●バルブの落下や衝撃には十分に注意してください。破損した場合、ガラスの破片が飛散し怪我の原因となります。

●バルブのガラス部分には触れないでください。破損や光度低下の原因となります。

●使用済みのバルブは、ガラス部分を割らないでください。ガラスの破片が飛散し怪我の原因となります。

●点灯時および消灯直後のバルブは高温になっています。火傷の原因になりますので触れないでください。

使用上の注意

CAUTION 注意

●本製品は DC12 ボルト・マイナス COM 二輪車専用です。該当車以外には使用はしないでください。

●本製品使用中に少しでも異常を感じた場合、お買い求めの販売店様までご連絡ください。

●走行前に必ず光軸調整を行ってください。

●誤った使用および取り付け、改造しての使用、他社製品との併用などによる不具合は一切の責任を負いかねます。

●一部車種により、車検対応できない場合があります。

●本バルブキットの最大出力は 46 Wです。車両に取り付けられている純正のバルブの出力がこれより小さい場合や、再生樹脂を使用した灯具搭載車は、灯具や配線の耐熱不足のため、灯具の変形／損傷、コネクター変形／損傷、配線の焼損など、部品が破損する恐れがあります。その場合は、ディマーユニットにて 35 W出力調整（17 ページ）を行ってください。

●点灯時および消灯直後に洗車などでレンズに直接水をかけないでください。温度差により、ひびが入るなどの破損の原因となります。

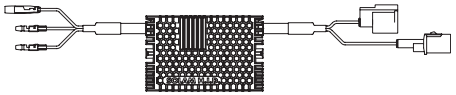
01. 各製品のキット内容

装着の前に本製品のキット内容をご確認ください

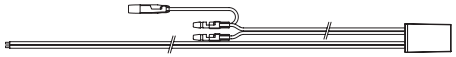
※各パーツは性能・コスト向上のため、予告なく変更される場合があります。

共通部品

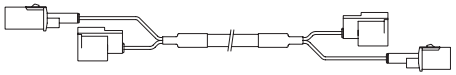
■バラスト×1



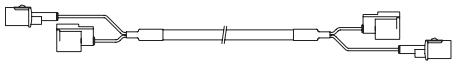
■ディマーユニット×1



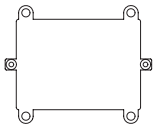
■バラスト延長ケーブル(500mm)×1



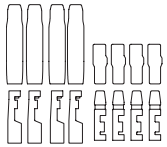
■バラスト延長ケーブル(1000mm)×1



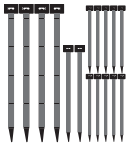
■バラスト固定用プレート×1



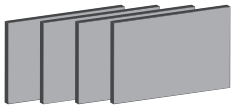
■ギボシ端子セット×1



■タイラップ(大4・中2・小8)



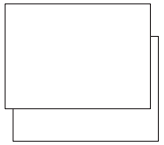
■両面粘着スポンジシートセット×1



■ディマーユニットジャンパーピン×1
(ディマーユニット内に内蔵)

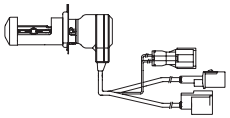
■取扱説明書兼保証書(本書)×1

■ファスナーテープセット(オス・メス)×1



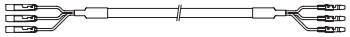
H4MS

■H4MSバルブASSY×1

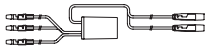


■電源ケーブル×1

■電源延長ケーブル(1000mm)×1



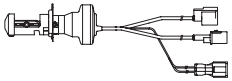
■H4モジュール×1



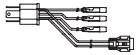
■電源延長ケーブル(500mm)×1

H4M

■H4MバルブASSY×1

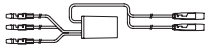


■電源ケーブル×1



■電源延長ケーブル(1000mm)×1

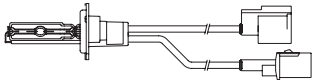
■H4モジュール×1



■電源延長ケーブル(500mm)×1

H7

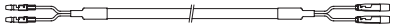
■H7バルブASSY×1



■電源ケーブル×1

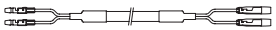
■グロメット×1

■電源延長ケーブル(1000mm)×1



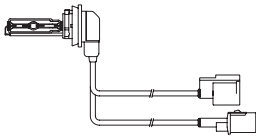
■H7バルブアダプター×1

■電源延長ケーブル(500mm)×1



H8/9/11

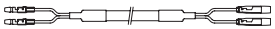
■H8/9/11バルブASSY×1



■電源ケーブル×1

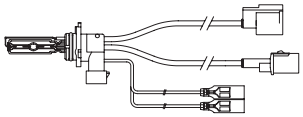
■電源延長ケーブル(1000mm)×1

■電源延長ケーブル(500mm)×1



HB3/4

■HB3/4バルブASSY×1

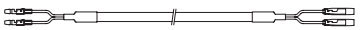


■電源ケーブル×1

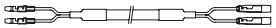
■HB3用Oリング(細)×1

■HB4用Oリング(太)×1

■電源延長ケーブル(1000mm)×1

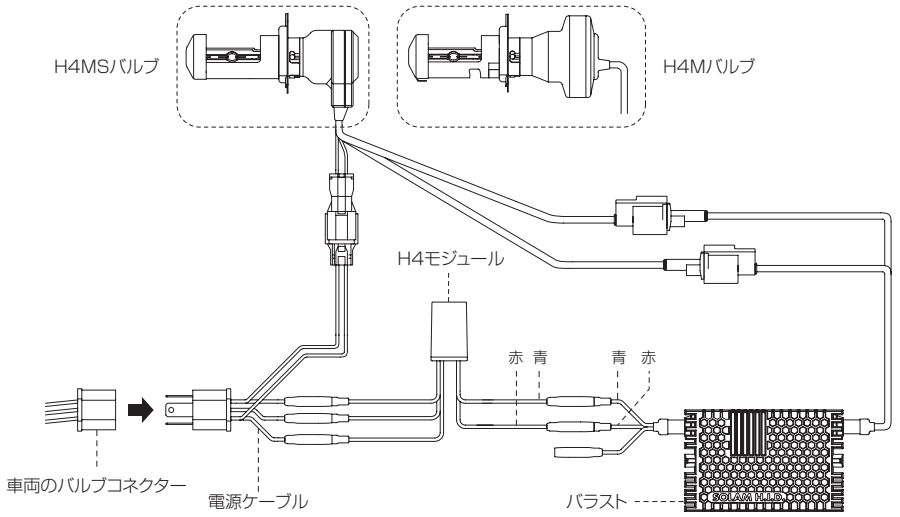


■電源延長ケーブル(500mm)×1

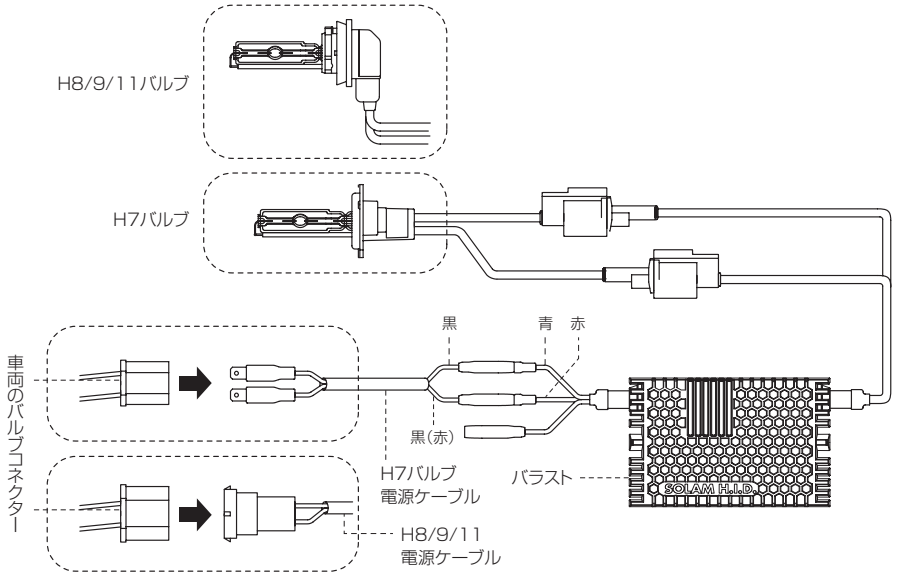


02. 配線図

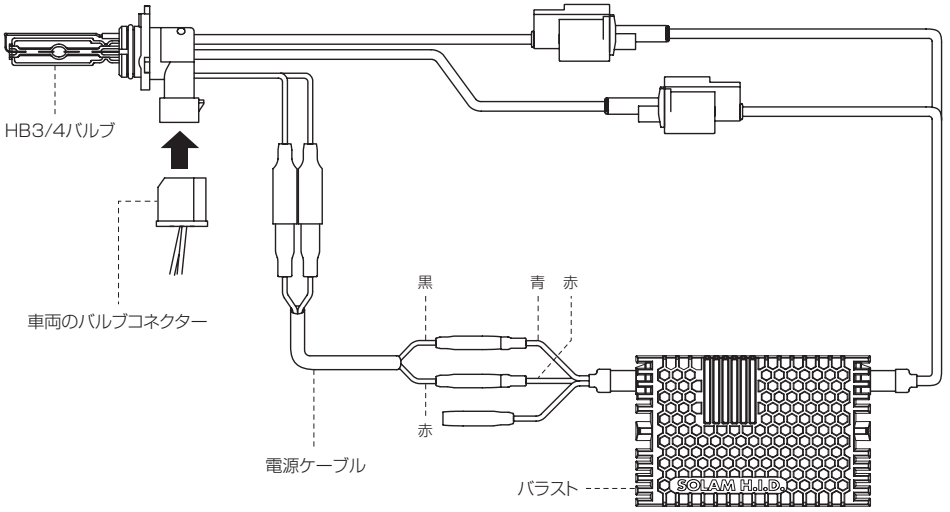
H4MS,H4M 基本配線



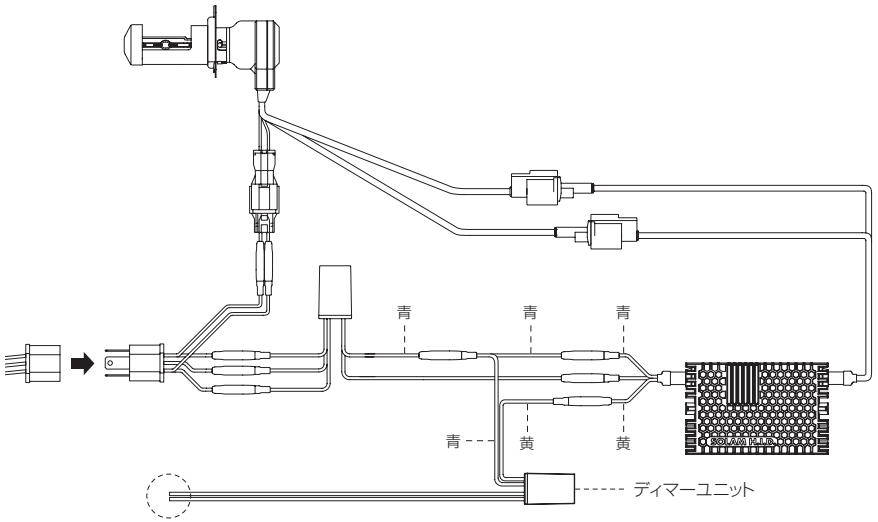
H7,H8/9/11 基本配線



HB3/4 基本配線



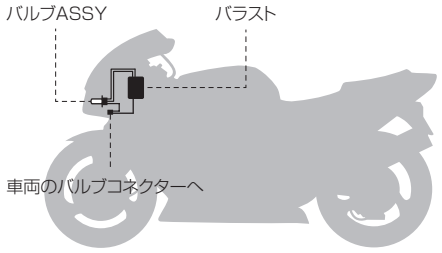
ディマーユニット 基本配線



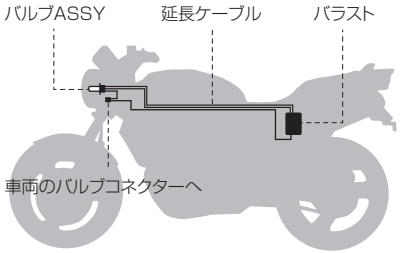
※図はH4MSバルブの場合です。

03. 取り付け前の準備

取り付け位置例

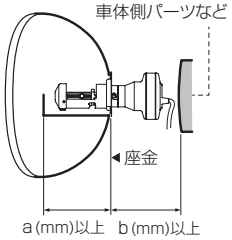


フルカウル、スクーター



ネイキッド

バルブ取り付け部のクリアランス

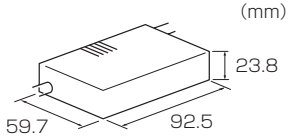


	a(ライト内)	b(ライト裏)
H4MS	60	44
H4M	60	54
H7	50	26
H8/9/11	50	23
HB3/4	55	22

※バルブ取り付け部クリアランスの確認の目安にしてください。

バラストの寸法

(mm)



ディマーユニットの寸法

(mm)

必要工具

車両の整備に必要な基本工具／絶縁テープ／
ギボシ交換用圧着工具／棒ヤスリ(車種により必要)／ニッパー

あると便利な工具

ノギス／テスター／半田／
半田ごて

⚠ CAUTION 注意

取付注意点

- ●取り付け作業には専門的な知識が必要となります。整備資格のある方の取り付け作業をお願いいたします。
- ●指定以外の配線類の変更は行わないでください。
- ●取扱説明書およびサービスマニュアルに従って作業を行ってください。
- ●作業は平坦な場所で充分なスペースを確保して行ってください。
- ●濡れた手やオイルの付いた手での作業は行わないでください。
- ●カプラーの接続は「カチッ」と音がするまで挿入し、接続を確認してください。
- ●ギボシ端子の配線は、奥まで確実に挿入して接続してください。
- ●作業終了後、配線の最終確認をしてから作動確認を行ってください。
- ●盗難防止装置などを装着している場合は、電装系の取り扱いにご注意ください。

点灯能力(電源電圧)診断チェックについて

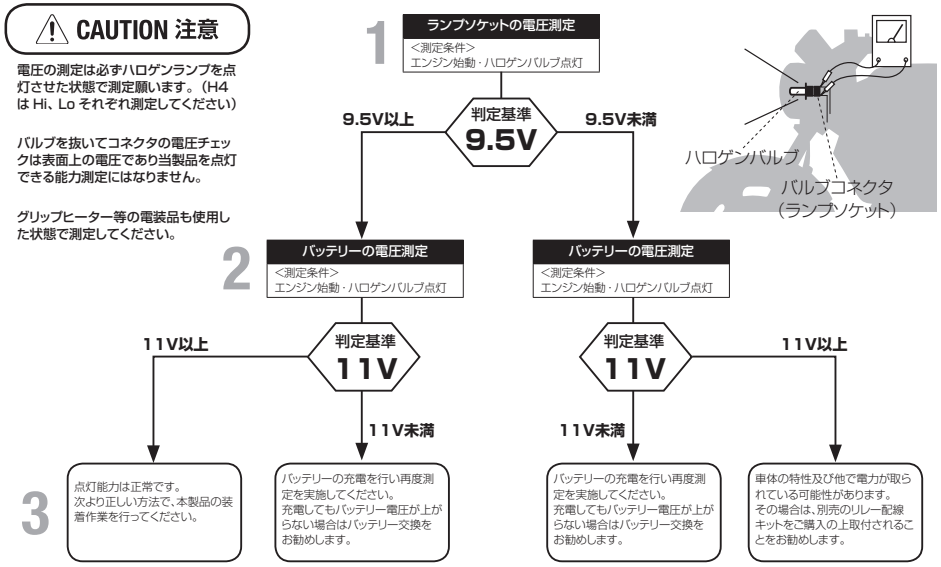
点灯時、車体側のバルブコネクタからの電源電圧が不足すると正常に点灯できません。取り付ける前に以下の診断を行ってから、車両への取り付けを行ってください。

⚠ CAUTION 注意

電圧の測定は必ずハロゲンランプを点灯させた状態で測定願います。(H4はHi、Loそれぞれ測定してください)

バルブを抜いてコネクタの電圧チェックは表面上の電圧であり当製品を点灯できる能力測定にはなりません。

グリップヒーター等の電装品も使用した状態で測定してください。



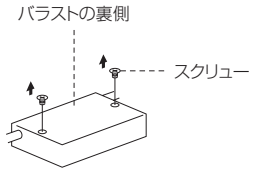
バラストの取り付けおよび延長ケーブルの接続について

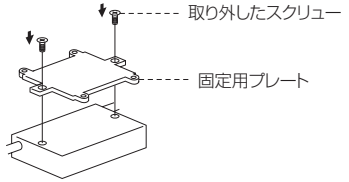
バラストの取り付け位置が決まり、点灯の確認後(18ページ)、バラストを車両に固定します。
必要に応じて、**バラスト固定用プレートの取り付け**、**延長ケーブルの接続**を行い、
バラストを両面粘着スポンジシートおよびタイラップ等で車両に確実に固定してください。

⚠ CAUTION 注意

バラストは、ETCユニットやECU(エンジンコントロールユニット)等の近く、
またはエンジン付近などの高温となる場所への設置は避けてください。

●バラスト固定用プレートの取り付け





1 バラスト裏側の
スクリュー2個を取り外す。

2 バラスト固定用プレートを取り付け、
取り外したスクリュー2個で締め付ける。

⚠ WARNING 警告

バラストは防水構造となっておりますが、できる限り水のかかりにくい場所に取り付けてください。
高温になる場所は避け、配線に無理な力がかからない場所に確実に固定してください。

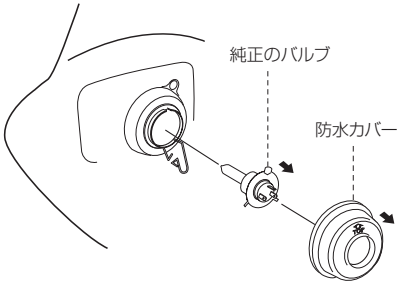
04. H4MS, H4Mバルブキットの取り付け

I. バルブの取り付け

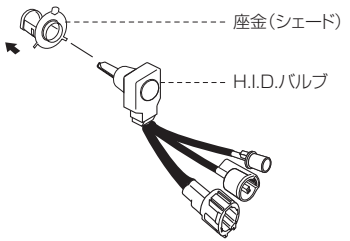
⚠ CAUTION 注意

※バルブを取り付ける際、以下の点に注意して、慎重に作業を行ってください。

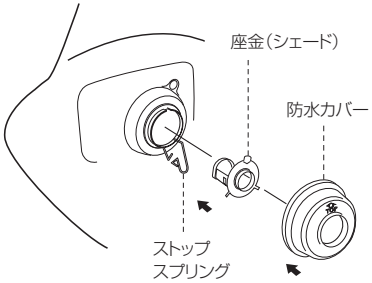
- ●バルブを傷つけないこと。
- ●バルブをななめに差し込まないこと。
- ●座金の方向を間違わないように注意すること。
- ●バルブのガラス部分や、バルブシェードの配光シャッターなどがライトケースなどの灯具に当たらないように取り付けること。



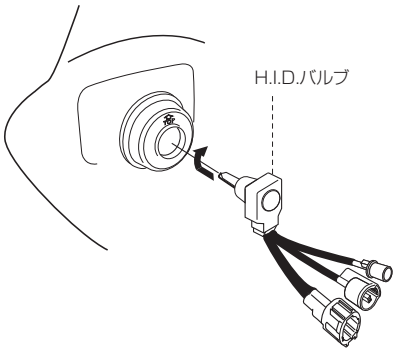
1 防水カバーを取り外し、車両に付いている純正のバルブを取り外す。



2 H.I.D.バルブに付いている座金を取り外す。



3 座金を車両に取り付け(ストップスプリングで確実に固定する)、防水カバーを取り付ける。



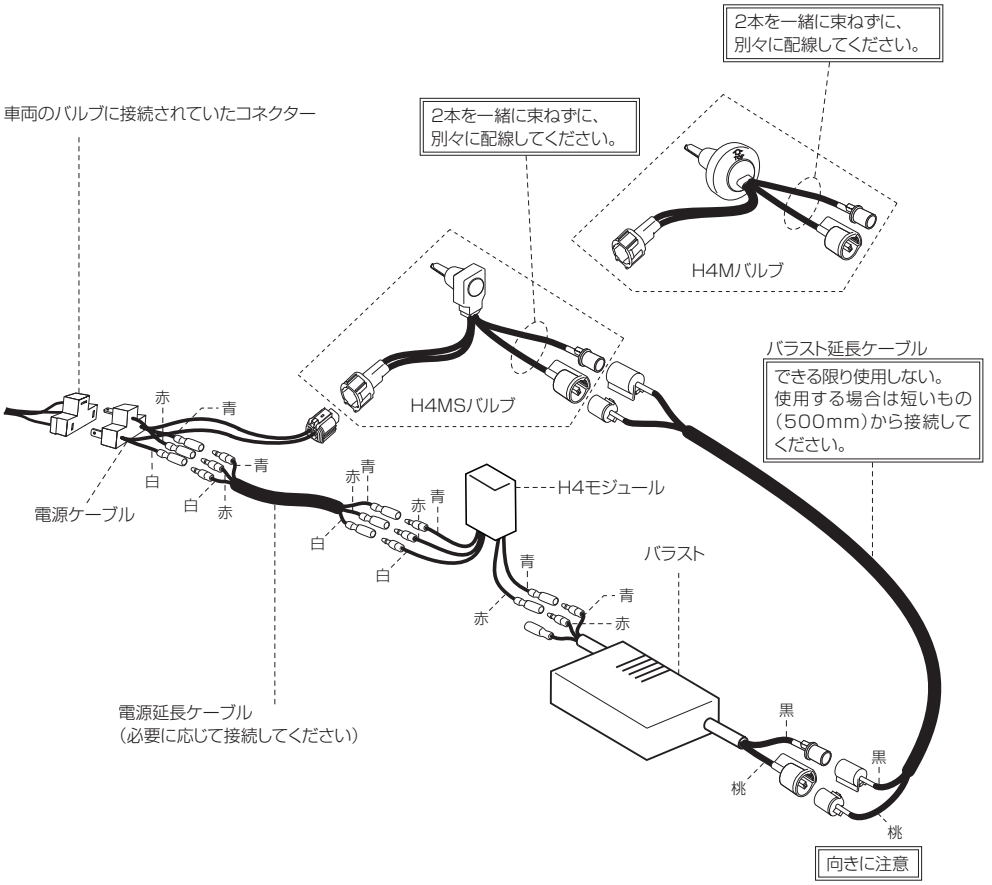
4 H.I.D.バルブを座金に合わせてまっすぐに奥まで差し込み、右に回してロックする。

※図はH4MSバルブの場合です。H4Mバルブの場合は、H.I.D.バルブに防水カバーを挿入してから車両へ取り付けてください。

車両への基本的な取り付け手順です。
車種により取り付け手順は異なりますのでサービスマニュアル等でご確認ください。
防水ゴムカバー等のパーツは正しく取り付けてください。

II. バラスト、配線の取り付け

※イラストは取り付けイメージ図です。配線の長さや形状、寸法等は実物とは異なります。



※バラスト、配線を仮配置して、各コネクターを接続したら、点灯の確認を行ってください。
点灯確認後、タイラップ等でバラスト、配線を車両に確実に固定してください。

●HS1バルブ搭載車、再生樹脂を使用した灯具搭載車について

上記装置の搭載車両については、ディマーユニットの取り付け、調整等が必要となります。
詳しくは“ディマーユニットの分解／調整（17ページ）”を参照してください。

⚠ WARNING 警告

本製品は、車体側ヘッドライトのHi/Lo切替え制御がマイナスCOM車専用です。
プラスCOM車両には対応しておりません。

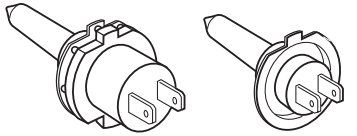
車両への基本的な取り付け手順です。
車種により取り付け手順は異なりますのでサービスマニュアル等でご確認ください。
防水ゴムカバー等のパーツは正しく取り付けてください。

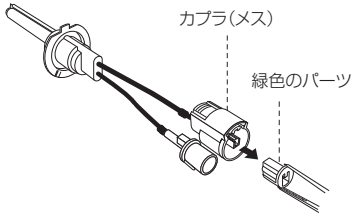
05. H7バルブキットの取り付け

I. アダプター、グロメットの取り付け

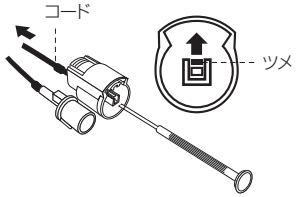
車両に付いているバルブがアダプター(ゲタ)付の場合、H.I.D.バルブに、付属のH7バルブアダプターとグロメットを取り付ける必要があります。下記の手順に従って取り付けを行ってください。

なお、アダプター(ゲタ)無しの場合で、H.I.D.バルブがライトケース内に収まる場合は、ホールソー等でケースに直径Φ25mm程度の穴を開けて、H.I.D.バルブのケーブルと電源ケーブルを通し、穴周辺の防水処理を行ってください。別売りのΦ25mmグロメット付電源ケーブルを使用するときれいなフィッティングが可能です。

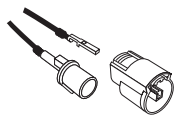




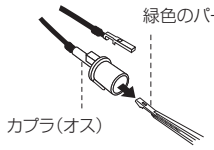
1 カプラ(メス)から緑色のパーツをラジオペンチ等で抜き取る。



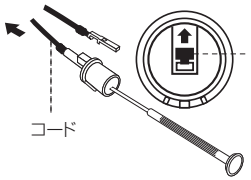
2 カプラ内のツメを精密ドライバーで上に持ち上げながらコードを引き抜く。



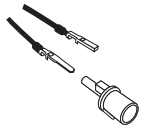
3 カプラ(メス)を取り外す。



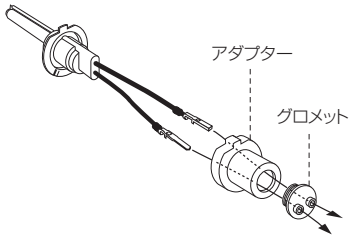
4 カプラ(オス)から緑色のパーツをラジオペンチ等で抜き取る。



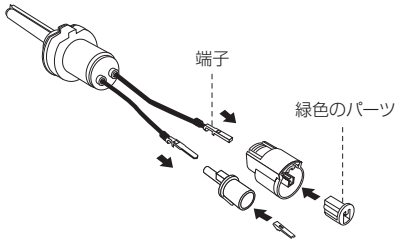
5 カプラ内のツメを精密ドライバーで上に持ち上げながらコードを引き抜く。



6 カプラ(オス)を取り外す。



7 アダプター、グロメットにコードを通し、バルブに取り付ける。



8 各カプラにコードの端子を取り付け、緑色のパーツを取り付ける。

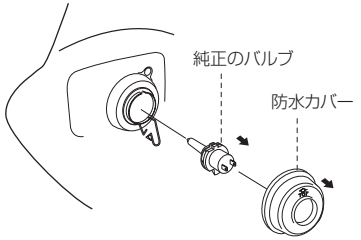
※ツメはカプラ外周部に押し当ててコードをゆっくり慎重に抜いてください。コードに無理な力を加えると破損する恐れがあります。
防水カバーが取れないように気をつけてください。

II. バルブの取り付け

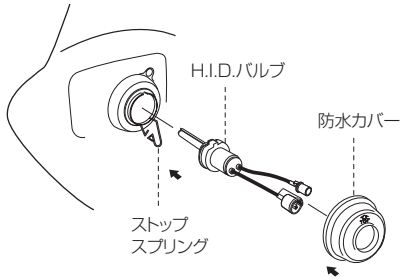
⚠ CAUTION 注意

※バルブを取り付ける際、以下の点に注意して、慎重に作業を行ってください。

- ●バルブを傷つけないこと。
- ●バルブをななめに差し込まないこと。
- ●バルブのガラス部分がライトケースなどの灯具に当たらないように取り付けること。



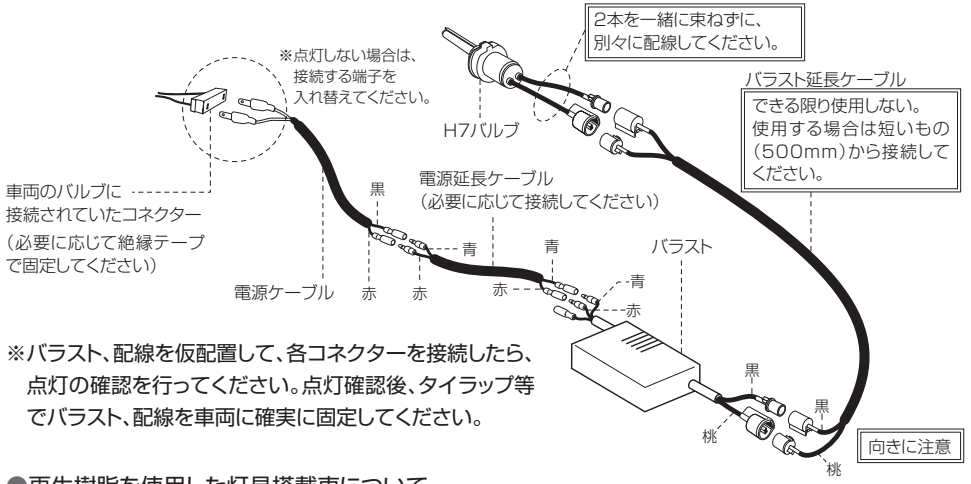
1 防水カバーを取り外し、車両に付いている純正のバルブを取り外す。



2 H.I.D.バルブを車両に取り付け(ストップスプリングで確実に固定する)、防水カバーを取り付ける。

III. バラスト、配線の取り付け

※イラストは取り付けイメージ図です。配線の長さや形状、寸法等は実物とは異なります。



※バラスト、配線を仮配置して、各コネクターを接続したら、点灯の確認を行ってください。点灯確認後、タイラップ等でバラスト、配線を車両に確実に固定してください。

●再生樹脂を使用した灯具搭載車について

上記装置の搭載車両については、ディマーユニットの取り付け、調整等が必要となります。
詳しくは“ディマーユニットの分解／調整（17 ページ）”参照してください。

車両への基本的な取り付け手順です。
車種により取り付け手順は異なりますのでサービスマニュアル等でご確認ください。
防水ゴムカバー等のパーツは正しく取り付けてください。

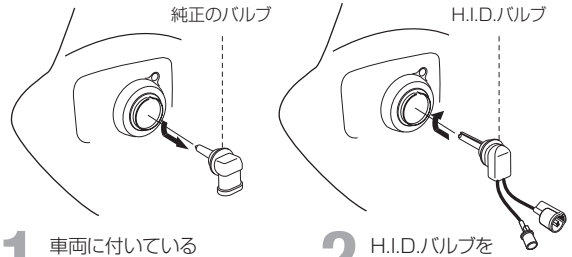
06. H8/9/11, HB3/4バルブキットの取り付け

I. バルブの取り付け

⚠ CAUTION 注意

※バルブを取り付ける際、以下の点に
注意して、慎重に作業を行ってください。

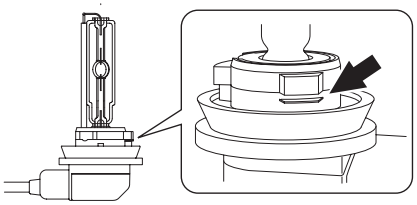
- ●バルブを傷つけないこと。
- ●バルブをななめに差し込まないこと。
- ●バルブのガラス部分がライトケースなどの
灯具に当たらないように取り付けること。



1 車両に付いている
純正のバルブを取り外す。

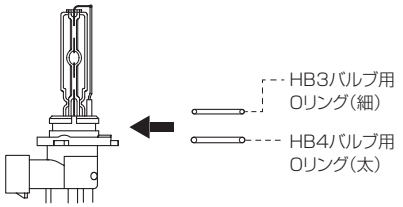
2 H.I.D.バルブを
車両に取り付ける。

■H8/9/11バルブ



ケースに入りにくい場合は、3ヶ所のフランジ(ツメ)の裏側面の凸部を棒ヤスリ等で平らに削り取ってください。(その際は削りすぎや不揃い、破損にご注意ください。)

■HB3/4バルブ

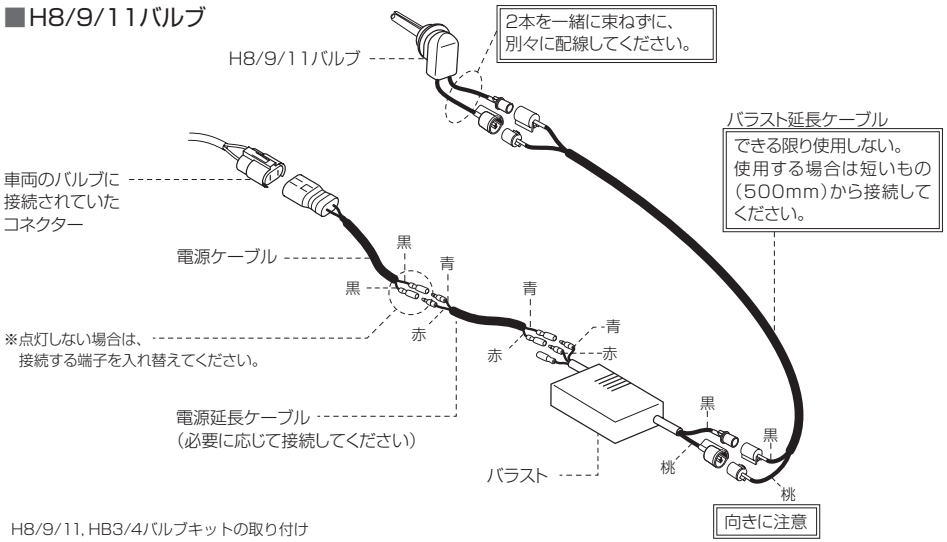


HB3/4バルブは、出荷状態ではOリングが
装着されていません。車両のバルブタイプに合わせて、
それぞれのOリングを必ず装着してください。

II. バラスト、配線の取り付け

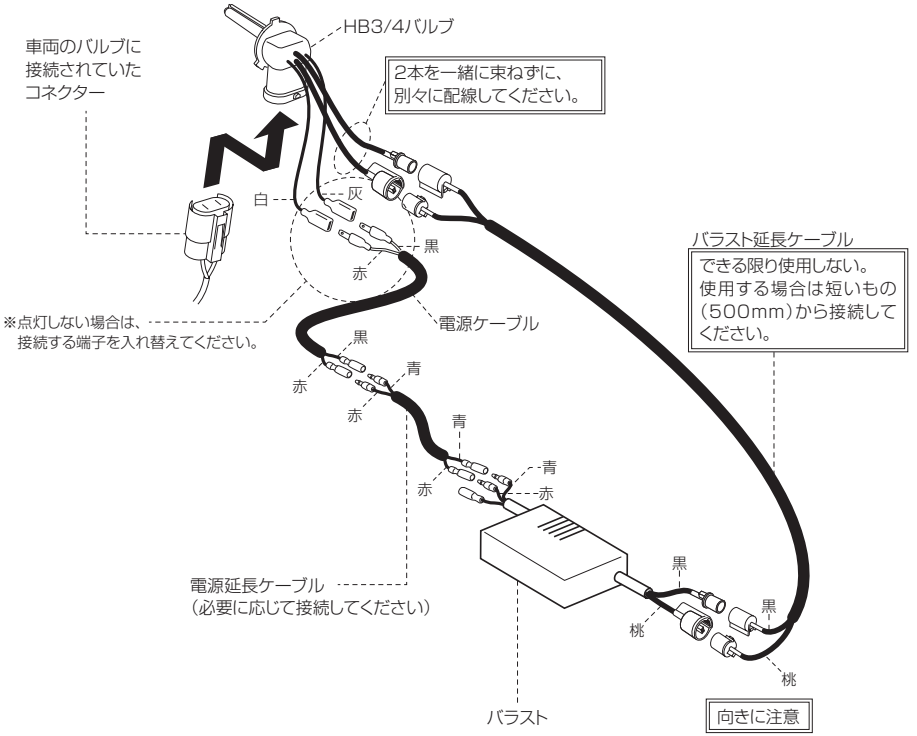
※イラストは取り付けイメージ図です。配線の長さや形状、寸法等は実物とは異なります。

■H8/9/11バルブ



■HB3/4バルブ

※イラストは取り付けイメージ図です。配線の長さや形状、寸法等は実物とは異なります。



※バラスト、配線を仮配置して、各コネクターを接続したら、点灯の確認を行ってください。
点灯確認後、タイラップ等でバラスト、配線を車両に確実に固定してください。

●H8バルブ搭載車、再生樹脂を使用した灯具搭載車について

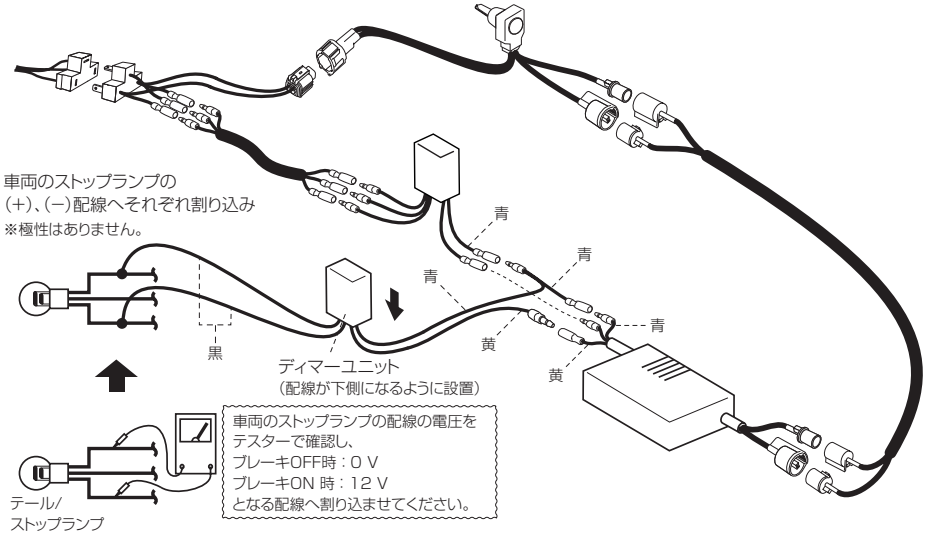
上記装置の搭載車両については、ディマーユニットの取り付け、調整等が必要となります。
詳しくは“ディマーユニットの分解／調整（17 ページ）”参照してください。

車両への基本的な取り付け手順です。
車種により取り付け手順は異なりますのでサービスマニュアル等でご確認ください。
防水ゴムカバー等のパーツは正しく取り付けてください。

07. ディマーユニットの取り付けおよび作動

■取り付け、接続

※イラストはH4MSバルブキットに取り付けた場合のイメージ図です。配線の長さや形、寸法等は実物とは異なります。

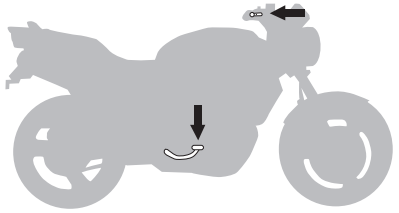


●ディマーユニットからのギボシ端子(オス)はバラストのギボシ端子(メス)へ、
ギボシ端子(オス、メス)はバラストと電源ケーブルの間へ接続してください。

●配線(黒)2本は、車両のストップランプの+/−配線へそれぞれ割り込ませて接続してください。

- 車両のストップランプの配線はサービスマニュアルでご確認ください。
- 端子取り付け加工を行う際は、電工ペンチ等の専門工具を使用して確実に装着してください。
- ディマーユニット側の割り込みさせる配線に極性はありません。
- 車両のストップランプの配線の電圧をテスターで確認して、割り込ませて接続してください。
  ※LED仕様車等でブレーキOFF時でも7V程度の電圧が流れている車両があり、これらには使用できません。
- HS1/H8バルブ搭載車、再生樹脂を使用した灯具搭載車については、次ページを参照してください。
- 減光時、立ち消えしやすい場合は、17ページの手順4.で減光時の明るさを少し上げて安定させてください。

■減光機能の操作方法(動作)



H.I.D.ライト安定点灯中(点灯直後は作動しない場合あり)

●ブレーキ入力操作連続8〜10秒以上でON
⇒ブレーキ操作解除でOFF

●ブレーキ入力3秒間に6回操作でON(離してもON状態)
⇒ブレーキ入力1秒間1回でOFF

車両への基本的な取り付け手順です。
車種により取り付け手順は異なりますのでサービスマニュアル等でご確認ください。
防水ゴムカバー等のパーツは正しく取り付けてください。

08. HS1/H8バルブ搭載車、再生樹脂を使用した灯具搭載車について

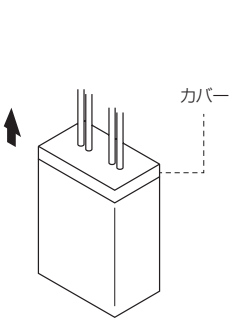
■HS1/H8バルブ搭載車、再生樹脂を使用した灯具搭載車について

●本バルブキットの最大出力は46Wです。車両に取り付けられている純正のバルブの出力がこれより小さい場合や、再生樹脂を使用した灯具(低耐熱仕様灯具、BMWなど)の搭載車両については、車両に取り付けられている純正のバルブより、H.I.D.バルブの消費電力が大きく、灯具や配線の耐熱不足のため、灯具の変形／損傷、コネクター変形／損傷、配線の焼損など、部品が破損する恐れがあります。

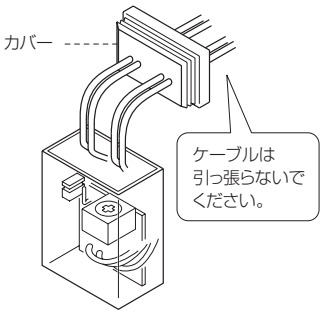
●本製品は、ディマーユニットの取り付け、調整を行うことにより、H.I.D.バルブの消費電力をコントロールすることが可能です。

●下記のディマーユニットの分解／調整手順に従い、H.I.D.バルブの消費電力の調整を行ってください。

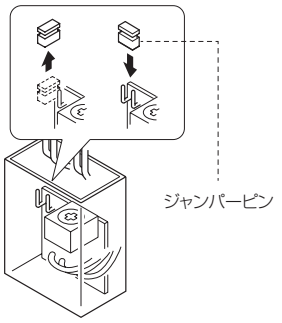
■ディマーユニットの分解/調整



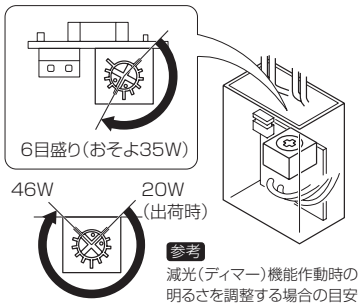
1 カバーを取り外す。



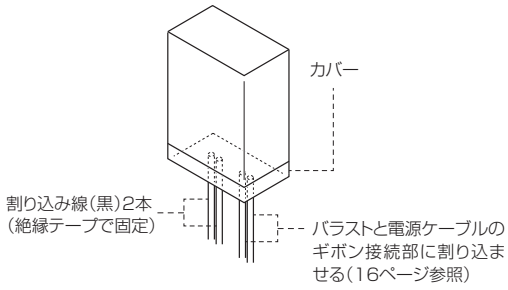
2 ディマーユニットの上から作業ができるようにカバーをスライドさせる。



3 ディマーユニットからジャンパーピンをピンセットで取り外し、90度回転させて2つのピンに接続する。



4 ディマーユニット内部の可変抵抗を、精密ドライバーでダイヤルメモリの6分目あたり(35W出力相当)に合わせる。



5 カバーを取り付け、配線が下側になるようにディマーユニットを車両に設置する。
ストップランプ割り込み線(黒)2本は使用しないので、絶縁テープで固定する。

●上記ディマーユニットの調整(ジャンパーピン接続)を行うと、ブレーキと連動した減光(ディマー)機能は作動しません。

09. 点灯テストおよび、光軸調整、車検について（点灯動作について） 重要!

1 バルブの装着および全ての配線作業が終わったら、外装等を取り付ける前に点灯テストを行ってください。正常に点灯しない、Hi/Lo 切り換えが正常に行えない、ディマー機能が作動しない等の場合は配線の接続が正しいか説明書と照らし合わせてもう一度ご確認ください。また、カプラーやギボシ等が確実に接続されているか、もう一度ご確認ください。なお、点灯動作については、下の内容をご確認ください。

2 問題なく点灯する場合は、外装等の取り付け作業を行ってください。この時、ハンドルを左右に少しずつ動かしケーブル類が引っ張られたり咬み込みがないか確認しながら作業を行ってください。ケーブル類が断線またはショートする原因となります。

3 全ての作業を終えたらもう一度点灯テストを行ってください。この時正常に点灯しない等の場合は、ギボシ等の接続が正しくされていない場合がありますので、配線が確実に接続されているか、もう一度ご確認ください。

4 取り付け作業が終わったら、光軸調整を必ず行ってください。H.I.D. の取り付け作業を行うと、灯具自体が若干ずれて光軸がずれる場合があります。

DC46W 点灯動作について ～このように動きます～

基本的な動作

●点灯時、瞬間的に車体から約 50W ～ 70W の電力が取れる場合点灯を開始します。
●点灯時、車体側のバルブコネクタへの電源が不足すると点灯できません。
●点灯時、バルブ内部の状態（特に長時間の使用直後等）により点灯できない場合があります。
再度イグニッションの OFF/ON で再点灯を行ってください。
●点灯後、車体側電源が正常なら 46W の明るさで点灯します。
●点灯直後、光が揺れて光ることがあります。10 数秒程度で落ち着きます。
●車体側の電源が不足気味だと、車体から取れる電力に応じて 20W ～ 46W の間で点灯します。
●車体側の電源が点灯維持に必要な電力以下になると H.I.D. は消灯し、3 回リトライを行います。

ディマーユニットを組み込んだ場合（ブレーキ連動使用）

ブレーキを8～10秒間連続で掛けたままの場合、最大46Wから20Wへ減光します。 → その後、ブレーキを離すとディマー機能が解除され元の明るさへ戻ります。

ブレーキを3秒以内に6回断続的に掛けると、最大46Wから20Wへ減光します。6回目以降、ブレーキを離してもディマー機能は働いた状態となっています。 → その後、再度1秒程度ブレーキを掛けて離すとディマー機能が解除され元の明るさへ戻ります。

●ディマー機能が働いて減光点灯している際に消灯すると、ディマー機能は解除され、再び最大 46W 点灯でリトライを開始します。

⚠ CAUTION 注意

● 20W 点灯状態のディマー機能を働かせたままの走行は控えてください。バルブ寿命を著しく低下させる要因となります。
●車両の個体差、バルブの個体差など相互的な要因により、20W へ減光時に点灯を維持できなく立ち消えが頻発する場合があります。
そのような場合は、17 ページの手順 4. で減光時に安定点灯できるワット数までボリュームを少し上げて調整してください。

ディマーユニットを組み込んだ場合（ジャンパーピン使用:HS1、H8、再生樹脂を使用した灯具搭載車）

点灯時、最大46Wで点灯します。
↓
点灯開始してから5秒後、ディマーユニットで調整したボリューム（指定は35W程度のボリューム）まで減光します。
↓
点灯中、一旦消灯するとディマー機能が解除され再び最大46W点灯でリトライを開始します。

車検について

本製品のバルブは、ヘッドライトバルブの規格に基づき車検に合格できる LCL、明るさ、発行色で設計･製造されています。ただし、以下のような場合は車検に合格しない場合があります。

●本製品を正しく取り付け・使用していない場合
●光軸調整がきちんとされていない場合
● 2 灯同時点灯式車両で片側のみ本製品を使用している場合（2 灯の色違い）
● HID（放電灯）非対応の検査機を使用した検査ラインの場合
●ディマー機能を作動させた 20W 程度の点灯状態の場合

トラブルシューティング

状 況	内 容
HIDバルブが光らない。 バチバチ音がする。 Hi/Loが効かない。 （H4 Hi/Loの場合）	●各ケーブルの接続方法が正しいかもう一度確認してください（10～16ページ参照） ●各ケーブルの接続カプラーやギボシは奥まで確実に差し込まれていますか? ●車両のバルブ電源コネクターに正しく電源が供給されていますか? ●車両のバルブ電源コネクターの配線に断線や接触不良はありませんか? ●車両のバッテリーや発電･電装系統は正常ですか? ※点灯開始時は点灯維持時よりも瞬間的に電力が必要となります。点灯開始に必要な電力が取れない場合は点灯できません。 ※点灯開始時、バルブ内部の状態（特に長時間の使用直後等）により点灯できない場合があります。その場合は、イグニッションのOFF/ONで再度点灯させてください。
走行中、光軸がぶれる。	●バルブが正しい向きで灯具に固定されていますか? ●バルブを固定するスプリングが正しく確実に固定されていますか? ●ヘッドライトユニットが装着されているケースやカウル類は確実に固定されていますか? ●一部の車両（特にハーフカウル車）では灯具自体に多少の揺れがあり、光量が増したH.I.D.の場合、その動きが助長されて照射されることがあります。 ※点灯直後および減光時は稀にアーク放電が不安定となり、光にゆらぎが出る場合があります。
ブレーキ連動の減光機能が作動しない。	●キットに同梱のディマーユニットを正しく接続していますか?（16ページ参照） ●車両のストップランプとグランドラインに割り込ませて接続し、12V信号を取っていますか? ※ブレーキ連動の場合、ブレーキを掛けて始めてから8～10秒後に減光が作動します ※3秒以内に6回ブレーキを掛けると減光しますが、あまりに速過ぎると正しく信号が拾えず減光が作動しない場合があります。
灯具が変形（溶解）した。	●再生樹脂を使用した灯具の場合、付属のディマーユニットで35W程度に減光させて本製品を使用しないと、灯具が変形（溶解）する場合があります。 ※HS1/H8バルブ搭載車、再生樹脂を使用した灯具搭載車は必ず出力調整（17ページ参照）を行ってから使用してください。